

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成			
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備				
(施策の小項目)	○スポーツコンベンション施設の整備				
主な取組	都市基幹公園等の整備	実施計画 記載頁	84		
対応する 主な課題	○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容	スポーツやレクリエーション活動の場として利用できる都市公園の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体 県 市町村
	69.3% 整備率			→	72.6%	→	
	総合公園、運動公園等の整備						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金)	1,678,592 (672,846)	1,183,049 (668,172)	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、県営都市公園において用地買収、園路広場、遊戯施設等の整備を行った。	内閣府 計上
市町村	-	-	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、市町村都市公園において用地買収、園路広場等の整備を行った。	-
活動指標名			計画値	実績値
整備率			70.1%	集計中 (参考:H24d) 66.6%
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	都市公園において、用地買収、園路広場等の整備を行ったことで、スポーツやレクリエーション活動の場の拡大することができた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金)	1,378,315 (461,806)	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、県営都市公園において、用地取得、園路、便益施設等の整備を行う。	内閣府計上
市町村	-	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、市町村都市公園において、用地取得、園路広場、運動施設等の整備を行う。	-

(3) これまでの改善案の反映状況

公園事業の事業進捗を図るためには、用地取得が不可欠であることから、公園事業に協力が得られるよう地権者に対し公園事業の必要性等、重要性を説明するなど、地元自治会、関係者等とも協力しながら、事業の推進に取り組んだ。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.0㎡ (22年度)	6.0㎡ (24年度)	6.5㎡	0㎡	4.1㎡ (24年度)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	(23年度)
-	-	-	-	-	-
状況説明	地権者等の協力が得られないことにより、計画的な整備推進ができないため、成果指標としては、基準値と同値で推移している。今後、公園事業の計画的な事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進していく。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・公園整備については、公園用地を確保しなければ実施できないが、用地取得や物件補償等に長期間を要しており、計画的な整備推進ができていないため、地権者等の協力が得られるよう公園事業の必要性、重要性等を説明するなど、早い段階から地元自治会等の関係者との協力体制が必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・事業を進捗させる代替案等はないものの、公園整備については、予算制約がある中において、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備に努め、さらに公園用地取得に向けては、地元自治会、関係者等とも協力しながら事業を推進していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・ 公園整備については、予算確保に努めるとともに、引き続き、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業が推進していく。また、不測の事態にも対応できるよう配慮し計画的な整備を行っていく。
- ・ また、整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
(施策の小項目)	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実			
主な取組	沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	実施計画 記載頁	84	
対応する 主な課題	<p>○県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。</p> <p>○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。</p>			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県内唯一の公認第1種陸上競技場である沖縄県総合運動公園陸上競技場の機能を維持しつつ、J2規格サッカー公式戦を開催できるように改修する。 具体的には、既設メインスタンドの改修及び、バックスタンドの新設、夜間照明灯の新設、大型映像装置の新設、外構の改修を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29~	実施主体
				一部供用開始 (H27.3月)	全面供用開始 (H28.4月)		県
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	1,267,000	881,328	陸上競技場改修のための実施設計を行った。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
J2公式戦開催に向けた陸上競技場のための設計			-	実施設計
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	実施設計の完成			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄振興特別推進交付金	2,132,713	陸上競技場改修の工事を行う。 (工事着手:全施設) 【一括交付金(ソフト)】	一括交付金 (ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成25年度に実施設計及び工事着工を予定していたが、実施設計に時間を要したため、工事着工が遅れている。平成26年度末に一部供用できるよう工事工程等の見直しを行う。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
陸上競技場(プロサッカー対応可能)年間利用者数	17万4千人 (H22・H23年)	16万6千人 (H24年)	22万5千人	-8千人	-
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	現状値が基準値を下回っている主な要因は、開催された大会数や入場者数の減少によるものである。 今後の取組により、J2基準のホームスタジアムが完成し、J2公式戦が開催されるようになれば、平成28年度の目標は達成可能と考える。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・工事段階においても、Jリーグや沖縄陸上競技協会等との調整に時間を要する可能性がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・関係機関とスムーズな意思疎通を図り、問題点の抽出、解決策の提示等を迅速に行うことによって、工程に支障がでないよう対応する。

4 取組の改善案(Action)

・Jリーグ及び沖縄陸上競技協会等と綿密に調整を行い平成26年度末の完成を目指す。